

予算決算福祉文教小委員会審査報告

平成 29 年 9 月 15 日

予算決算常任委員会委員長 荒川 詔夫 様

福祉文教小委員長 黒柳 博子

本小委員会に付託された事件についての審査内容及び経過、意見等を次のとおり報告します。

事件の番号	付 託 内 容
議案第 57 号	平成 28 年度一般会計歳入歳出決算中 民生費、衛生費、 <u>労働費</u> （シルバー人材センター運営事業）、 教育費及び関係歳入について

当小委員会では、上記付託議案について、説明員から詳細な説明を受けながら活発な質疑を行い、審査を行いました。

次に主な質疑、意見について報告します。

（赤文字のみ報告）

■ 住民環境課

【民生費】

質疑①：現在、住民の方に年金事務所から生存確認の通知が届いている。そこにマイナンバーの記載をするとされているが、マイナンバーを書かなくても給付は止まらないか。罰則規定はあるのか。

回答①：原則、記入し出してほしいと言っている。罰則規定はないが、記入漏れで返戻される可能性がある。未提出の場合は、扶養控除等の適用が受けられず、所得税等が多く源泉徴収されることがある。

質疑②：マイナンバーカードの申請件数は。

回答②：7 月末で約 900 件。申請率は約 7.8%となっている。

質疑③：国民年金保険料納付率が 82.82%で、北社会保険事務所管内で 3 番目だが、納付率を 100%に近づけるための町としての滞納対策は。

回答③：年金機構で対策している。免除制度もあり、全額免除でも半分は年金とし

て支給される。単身の場合、所得が 57 万円以下なら全額免除を受けられる。未納者に対しては、年金事務所が督促状催告などを行っている。町は免除受付をしている。

【衛生費】

質疑④：不法投棄監視連絡員巡回パトロールは職員が同行するのか。

回答④：同行はしない。連絡により職員が調査、回収する。

質疑⑤：北信保健衛生施設組合斎場事業特別会計分担金（旧斎場解体）費用はこれで終わりか。

回答⑤：これで終了する。

質疑⑥：北信保健衛生施設組合斎場特別会計分担金（新斎場建設）費用はこれで終わりか。

回答⑥：組合への分担金は終了するが、各市町での起債分は償還が継続する。

質疑⑦：河川水質検査で「依然として一部の周辺流域の家庭排水・・・」とは何か。

回答⑦：下水道等へ接続されていないものである。

質疑⑧：芋川日向前山地区産業廃棄物建設計画の 296,084 円は何の費用か。

回答⑧：大字芋川字前山地籍の道及び町有地の境界測量並びに表示登記の費用である。

質疑⑨：産業廃棄物建設計画で中野市の協力が得られていない。もっと中野市にもしっかりやってもらいたい。

回答⑨：飯山陸送の計画もある。会議には中野市環境課の職員も出席している。

質疑⑩：北部衛生施設組合のし尿処理計画は、今後 4~5 年はいいとしても再検討が必要であると思うが。

回答⑩：平成 27 年度において、一応検討結果は出ているが、今後必要であれば再度検討したい。

質疑⑪：可燃ごみの焼却炉の関係で、解体費用はみていないのか。

回答⑪：4 億円を予定しており、積立てをしている。

意見⑫：し尿処理の方もきちんと計画を立てて、早めに対応してもらいたい。

意見⑬：ごみ減量化を町民の目で見えるようにしていく必要がある。無線放送だけでなく、広報紙の掲載も必要。それによってモチベーションが上がってくる。

意見⑭：芹沢公衆トイレは古く経費もかかる。廃止できないか。

意見⑮：生ごみ処理補助を 1 世帯 2 台から、もっと多く 5 台に増やしたらどうか。

質疑⑯：鳥獣死骸処理はどのように行っているのか。

回答⑯：生活環境係は町道での鳥獣死骸を回収し焼却処理している。県道は県、国道は国、県・国道でもペット、緊急対応は町で行っている。

質疑⑰：平出地区の集団回収はないのか。

回答⑰：平成 26 年度から牟礼東小学校で行っている。

質疑⑱：環境審議会が開催されていないがなぜか。

回答⑱：協議する審議事項がなく開催しなかったが、今年度は既に開催している。

■ 保健福祉課

【民生費】

- 質疑①：パワーリハビリテーションの指導にあたるインストラクターは、何名で何時間の体制か。
- 回答①：事業開始当初は指導側の勉強が必要であり、3名以上が指導にあたった。通常は午前2時間、午後2時間で2名体制。
- 意見②：継続して通ってもらうには、インストラクターの指導が大切。継続して通ってもらえるように考えてほしい。
- 質疑③：公園の遊具の撤去は、生涯活躍のまち推進事業とどう関わりがあるのか。
- 回答③：公園の利活用については、福井団地区の生涯活躍のまち推進事業の委員の中から出た課題の一つ。公園の利活用を検討していく中で、事故等の危険性、老朽化で基準等により使えなくなった遊具を撤去した。
- 質疑④：撤去を終えて、どう使っていくか結論は出ているか。
- 回答④：まだ出ていない。引き続き委員会で協議している。
- 質疑⑤：社協では体力測定を行い、その結果を基にプログラムを考えている。町も同様の方法を採用しているか。
- 回答⑤：採用している。指導の中核に社協が入っており、インストラクターの上の資格を有している方にバックアップしてもらっている。
- 質疑⑥：現在もその資格を有している方はついているのか。
- 回答⑥：いつでも相談できる体制になっている。
- 質疑⑦：健康いきいき教室について、参加人数の167人の中にイベントの講師等の人数も含まれているのか。
- 回答⑦：含まれていない。
- 質疑⑧：健康いきいき教室の参加人数が167人であると、決算額に対する一人当たりの金額が高額になるが、その辺はどうなっている。
- 回答⑧：バス運行等、関係費用はすべてここから出ている。老人福祉一般事務費であり、決算額の中には長野広域連合への負担金も含まれている。
- 質疑⑨：それでも一人当たりの金額が高い気がするが。
- 回答⑨：事業開始当初は人気があったが、現在はあまり人が集まらない。季節に合うイベントを計画してチラシを配るなどしているが、なかなか人が集まらない現状を踏まえ、今後、内容について検討していかなければならない。
- 質疑⑩：老人クラブの会員数が年々減少している。高齢者は増えているはずだが、会員数減少の理由とその対策は。
- 回答⑩：60歳から老人クラブへ加入できるが、60歳を過ぎても現役で働く人が多い。60歳から加入でき、枠が広すぎるというのも一因。行政が何か起爆剤のようなものになるのはなかなか難しい。
- 質疑⑪：独居老人が増えていく。お互いの健康状態を確認する意味でも、老人クラブの役割は大きい。減少している一番大きな理由は、報告書等の作成に手間がかかることだと考える。地域担当制により職員が介入することで、維

持できるのではないか。

回答⑪：地域担当制で何かお手伝いできれば良いと思う。1月に区長組長さんが代わるので、必ず連絡して、何かお手伝いできることがあれば連絡をもらうように課長会議でお願いをした。そこで何か手伝えることがあれば良いと思う。

意見⑫：草刈りなど実務的なことは全くやる必要はない。決算書等の報告書の作成は手伝いができると思う。高齢者が増加しているからこそ老人クラブの役割は大きい。加入促進につながる対策を考えてほしい。

質疑⑬：社会福祉事業補助金はすべて社協に支払っているのか。

回答⑬：社協の運営に対して約1,800万円、ボランティアセンター関係で200万円。

質疑⑭：様々なところに町から補助金が出ているが、社協への補助金は増えているのか。

回答⑭：年々減っている。

質疑⑮：社協は自立していかなければならないと思う。補助金団体になってはいけない。社協の経営がひっ迫してきた原因は。

回答⑮：介護保険料が減っている。以前は社協しかなかったが、事業所が増えてきており、社協を利用する人が減っている。社協も中身を変えているが、一度離れた人が戻ってくるのは難しい。

質疑⑯：個人的な見解だが、介護度が高い人は手がかかるから外へ出し、介護度の低い人ばかりを見ている気がするが。

回答⑯：そういうことではない。

意見⑰：社協は町の地域福祉事業の中心にならなければいけない。町が指導していくべき。財政面で経営が難しいのであれば、介護保険事業は縮小していく必要がある。他の事業所でできない部分を社協が行う必要がある。社協でなければできないことを考えてやってほしい。

質疑⑱：心配ごと相談はどこで行っている。

回答⑱：福祉センター3階小会議室。

意見⑲：地域生活支援事業、日常生活用具給付費の「ネブライザー」「パルスオキシメーター」等がどういうものなのか分からないので、注釈等で説明をいれてほしい。

質疑⑳：心配ごと相談は月1回とあるが、他にそういったことを相談する窓口はないのか。

回答㉑：健康管理センターで精神的な相談を行っている。また、総務課でも弁護士相談を行っている。心配ごと相談以外にも相談するところはある。

【衛生費】

質疑㉒：健康管理センター医療防災管理棟空調機更新事業で、入札後に追加で払ったものはあるか。

回答㉒：当初設計の金額に、こちらからこの部分を変えてくださいと希望した分のみ増えている。

質疑⑳：なぜ冬期になったのか。冬期だと余計に経費がかさむのでは。春まで待てなかったのか。

回答㉑：今回の工事箇所は、ほとんどが病院のB棟であり、病院等との調整もあった。指名競争入札により設計監理業者を決定、その後、実施設計に期間を要したことや一般競争入札で施工業者を決めたことなどから、12月開始になってしまった。その結果、冬の工事となったが、ほとんどの工事は室内であったため、冬でも特に問題はなかった。

質疑㉒：子宮がん検診の受診率がとても低いですが、どうして低いのか。健診を受けていただける対策はあるのか。

回答㉓：以前から比較的受診率が低かったので、今年は受診料金を引き下げた。女性は町内で受けたくないという方が多く、市内で受ける方もいて、市内で受けた方の分は把握できない。また、職域や人間ドックで受診する方もいるので、全員の受診を把握することは難しい。どうすれば受けやすくなるかなどのアンケートも取ったので、その結果も参考にしていきたい。無料はがきは町外では使えないため、今後、相互乗り入れも考えていきたい。

質疑㉔：飯綱町の自殺者数は比較的多い。自殺の原因は何なのか。原因は分かるのか。それに対して町としては何ができるのか。

回答㉕：一般的な自殺の原因としては、金銭問題、健康問題、仕事上の問題がある。飯綱町は50歳以上の方、無職が多い。うつや引きこもっていた可能性もある。原因について、本当のところは分からないが、統計上に出ている原因は健康問題・不詳となっている。自殺者数を減らすことは難しいことであるが、ゲートキーパー養成講座をこれからも続け、悩んでいる人の話を聞いていけるようにしたい。

質疑㉖：団体等負担金として、約46万が出ているが、出した分だけ団体から町へのフォローなどはあるのか。

回答㉗：上水内医師会は講演会などを実施している。病院群輪番制事業運営負担金が一番多いが、これを払っているから町外の輪番制を組んでいる病院へ救急車で運ばれても受け入れてもらえている。負担金の金額は均等割や各市町村から何人救急車で運ばれているかなどで按分しており平等である。

質疑㉘：行政報告書には「乳がん」と「乳房がん」の両方が記載されているが、違いはあるのか。

回答㉙：違いはない。表示を乳がん検診に統一する。

質疑㉚：献血について、70歳以上はできないと言われるが、その理由は何か。

回答㉛：ここでは分からないので調べる。

質疑㉜：健康体操について、難しすぎて覚えられないと評判が悪い。もう少し覚えやすい体操にできなかったのか。

回答㉝：難しいという人も、ちょうど良いという人も、両方の意見がある。体操の作成に関わってくれた青柳先生は、できるところから、できる部分だけやってもらえれば良いと言っていた。座ったままでもできるバージョンもあるので、上半身だけでもやってもらえると良い。ラジオ体操も最初は誰でも

も難しかったと思う。健康体操も同じで、是非何回もやってみてほしい。

質疑⑳：住民が自ら行ない健康になってもらいたいということが当初の目的だと思う。そのようになるよう是非推進してほしい。

回答㉑：DVDも作成したので、これを使って普及していきたい。

質疑㉒：高齢者の肺炎球菌の接種率は何パーセントなのか。

回答㉓：正確ではないが、はがきを約 965 人に出しているので、56.6%。約 6 割になる。

【労働費（シルバー人材センター運営事業）】

質疑㉔：シルバー人材センターの会員数は増えているのか。

回答㉕：平成 27 年に比べると 3 名増えている。累計就業人数でいうと 1 名増えている。

■教育委員会

【民生費】

□児童福祉費、保育園費、子育て支援センター費等

質疑①：保育料の料金表はあるか。

回答①：後で配布する。

質疑②：飯綱町の保育料は高くないか。

回答②：国の子ども・子育て支援新制度により、平成 27 年度から現行水準より減額した保育料で実施している。また、第 3 子以降の多子世帯やひとり親世帯などに対しても支援をしている。延長保育料については、平成 26 年度から午後 6 時 30 分までを無料としていることもご理解いただきたい。

質疑③：小学校統合後の児童クラブはどうなるのか。

回答③：牟礼西・赤東両児童クラブは存続する。なお、統合後、近いうちに牟礼西児童クラブは西小に場所を移していく予定。

【教育費】

□教育総務費、小学校管理費、中学校管理費等

質疑④：奨学金貸付基金管理運営事業は、今後償還が始まる上において、表できちんと管理した方が良いのではないか。

回答④：そのように管理する。

質疑⑤：通学対策費の立看板設置委託業務の設置箇所数は。

回答⑤：飯綱中学校の 1 か所。

質疑⑥：牟礼東小・三水第一小駐車場新設工事の公有財産購入費で、土地の評価額はどれくらいか。

回答⑥：評価額については不動産鑑定士に調査を依頼し、牟礼東小学校の道を挟んで東側の畑が2,540円/㎡、道を挟んで西側の畑は1,940円/㎡。三水第一小学校は畑が2,010円/㎡、山林が500円/㎡。

質疑⑦：加配講師等の賃金で、加配の必要性の基準はあるのか。

回答⑦：毎年12月、学校長に加配についてのヒアリングを行い、教育委員会として人数を決定している。

質疑⑧：かなり学校の要望を聞いているのか。

回答⑧：基本的には学校長の要望を尊重している。

質疑⑨：これは町単独事業か。

回答⑨：そのとおり。

質疑⑩：不登校児童生徒は毎年10人程いるが、学校でのいじめが原因か。

回答⑩：不登校としてカウントされるのは、病気や経済的な理由を除き何らかの心理的背景により欠席日数が年間30日を超えた児童生徒。1回休んでしまうと、そのままズルズルと3、4日続けて休んでしまうことを繰り返しながらも、何とか1年を過ごすという場合が多く、いじめられて学校に来られないことはない。毎年の調査では、小学校は「学業の不振」「家庭に関わる状況」が要因にある。中学校では「学業の不振」「進路に関わる不安」「進級時の不適応」が主な要因である。

質疑⑪：報告では、いじめの件数が長野県はとても少ない。裏には先生がきちんと見ていないのではないかと心配してしまうが、些細ないじめでもきちんと対応しなくてはいけない。また、些細な事でも報告するような体制が望ましい。

回答⑪：飯綱町のいじめの件数が少ないのは、水面下で見えないからではないかという心配はあるが、現実的には小学校も中学校も定期的にアンケートをとったり面談をしており、自殺にまで追い込むようなことになる前にケアをしている。小学校でも中学校でも問題がないわけではないが、それを先生方が素早く対応してくださっているので、大事を小事で食い止めていると思っている。

意見⑫：いじめを見つけた先生を褒めてあげるような対応をした方が良い。

質疑⑬：公有財産購入費の登記委託料はどうなっているのか。

回答⑬：嘱託登記で対応しており委託料は発生しない。

質疑⑭：全国共通学力テストで、教育委員会が学校へ点数アップの指示をしたという新聞記事があった。あまり過熱させず、子どもたちに負担をかけさせないことが大事である。また、結果をどのように分析し、どう利用していくかも大事だと思うが。

回答⑭：手段が目的化しないようにしていきたい。また、テストの結果等については、5校の学力向上委員会を設けているので、学校ごと傾向と対策を協議して今後活かす取り組みを行っている。

質疑⑮：今後の英語教育を進めていく上において、今出ている市販の教材は使わないのか。

回答⑮：国から提供される教材で対応している。

□社会教育費、公民館費、生涯学習費、施設管理費、文化財費等

質疑⑯：人権を守るまちづくり講座の参加者数は。

回答⑯：58人。

質疑⑰：各施設の使用料でマレットゴルフ場とあるのは三水地区のマレットゴルフ場か。また利用者数は。

回答⑰：三水地区のマレットゴルフ場で、利用者数は50人。

質疑⑱：遺跡調査について、非常勤による事務遂行は不安定であり、職員体制を整える必要があるとのことだが、正規職員の配置見通しは。

回答⑱：近年、遺跡調査業務が増加傾向にある。担当部局としては、できれば考古学専門の学芸員を要望したい。

意見⑲：公民館ビデオ編集委員会が主ではないが、できればふるさとCMコンテストに毎年応募してほしい。

質疑⑳：区の財産を町の文化財に指定するにはどうしたらよいか。

回答㉑：教育委員会に申請する。教育委員会は、文化財調査委員会へ諮問し答申を受け判断する。

質疑㉒：町の文化財に指定するメリットとデメリットはなにか。

回答㉒：メリットは修繕に要する費用に補助があること。デメリットは、区などの判断で修繕できないこと。また、文化財になるので管理をより徹底していただくことになる。

質疑㉓：いづな大学への三水地区の受講生が少ない原因は何か。

回答㉓：牟礼地区は、合併前から文化大学というものを行っていた。三水地区にはなかったため、未だにいづな大学に馴染んでいないと推察する。

意見㉔：男女共同参画の事業を通して、女性でも区長組長ができる仕組みづくりのきっかけをつくってほしい。

質疑㉕：溝口会館の陶芸窯は何年前からあるのか。また燃料は。

回答㉕：正確に把握していないが、合併前の旧三水村時代から設置されている。燃料は灯油と電気。

質疑㉖：中学校の社会体育活動は保護者の了承を得てやっているのか。

回答㉖：県は平成14年4月の完全学校週5日制が導入されたことを機に、過熱する傾向にある部活動に対して、適正な運営方針を示すための改革に取り組み、中学生期のスポーツ活動指針を策定した。それにより、学校の部活動は校長の責任の下、顧問の先生により運営し、その延長にある社会体育活動は保護者の責任において運営している。保護者も承知している。

□学校給食共同調理場費

質疑㉗：調理員の賃金は徐々に上げていくということで理解して良いか。

回答㉗：平成29年度から31年度の3年間で実施していく。

質疑㉘：現在の時給単価はいくらか。

回答⑳：平成 29 年度で調理師資格無しが 910 円、調理師資格有りが 946 円、平成 31 年度で調理師資格有りは約 1,000 円。

平成 28 年度飯綱町一般会計歳入歳出決算のうち、当小委員会で審査した内容は以上のとおり。これらの決算認定について、反対の意見はありませんでした。